

併催企画報告

「ミルク&ミートほっかいどう」

平成17年9月9日・10日に開催された日本畜産学会第105回大会の併催企画として9月10日（土）・11日（日）の朝10時から夕方17時（11日は16時）まで、JR札幌駅南口広場にて北海道畜産学会主催の「ミルク&ミートほっかいどう」が企画されました。本イベントは日本の食料基地であると同時に、「食の安全と安心」というテーマに対して先駆的に取り組んでいる北海道の酪農・畜産業について、その生産・流通・消費など広範な角度からパネル展示やクイズを通して一般市民の方々にも分かり易く理解していただくことを目的としたもので、両日とも好天に恵まれたこともあって、BSEへの取り組みやトレーサビリティシステム等、現在最もホットな話題のパネルの前には、多くの人々が立ち止まり関心を示していました。特に家族に安全な食材を確保したいと願う、小さな子供連れの家族が目立ち、「食」に対する関心の高さが伺われました。定時毎に用意される試飲用の牛乳は、その都度瞬く間に品切れとなる盛況ぶりでした。

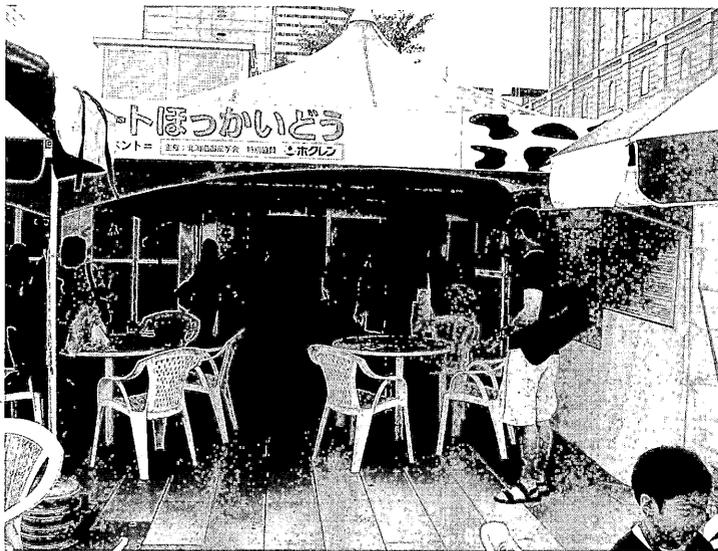


写真1
会場内には30枚程の出展パネルが並び、乳肉の生産から製造、消費者の手許に届くまでの流通経路や畜産食品の栄養的な価値が分かり易く紹介されています。



写真2
乳牛の種類や牛乳の成分等についてのクイズに答えるとガラポンを行って景品がいただける、という仕組み。筆者がゲットしたのは定番のポケットティッシュ。